

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイフラッグ

コード番号 2759 URL <http://www.iflag.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 園 博之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 仁分 啓太

TEL 03-5733-4492

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,101	8.9	36	—	74	—	66	—
25年3月期第1四半期	1,011	△36.5	△238	—	△161	—	△160	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 66百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	85.74	85.48
25年3月期第1四半期	△206.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,924	2,209	74.2
25年3月期	3,032	2,145	69.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,169百万円 25年3月期 2,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,137	3.9	△41	—	△38	—	△44	—	△0.57
通期	4,343	5.4	5	—	12	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)が△57円17銭、通期が0円33銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	777,248 株	25年3月期	777,248 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	748 株	25年3月期	748 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	776,500 株	25年3月期1Q	776,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成25年5月14日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から、円安株高が進行し、全体としての景況感は徐々に改善されつつありますが、一方で、欧州債務危機の長期化や中国の経済停滞などの海外景気に対する不安感から、依然として不透明感が拭えない状況が続いております。そして、当社グループの顧客層である小企業の業況もまた、全体の業況判断はマイナス幅が縮小したものの、製造業等のマイナス幅が拡大している業種もあり、景況感は引き続き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度の経営方針として、「事業構造改革の完遂と利益体質への転換」を掲げ、前々連結会計年度より、中期経営方針として定め、推進してまいりました事業構造改革を完遂し、安定的に利益を確保できる強固な事業体制を確立すべく、引き続きストック売上の比率の高い主力商材であるクラウドパッケージの拡販に注力し、その契約顧客アカウント数を積み上げていくことで、ストック売上の増加による安定的な収益構造への転換を進めると共に、利益をもたらすコスト構造への転換に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、クラウドパッケージの契約顧客アカウント数の増加等によりストック売上が増加したことによって、1,101百万円(前年同四半期比8.9%増)と増収となりました。さらに、営業費用が、前連結会計年度に年間を通じて取組んだコスト圧縮の効果等により、前年同四半期と比較して14.8%減少いたしましたので、損益は大幅に改善し、営業利益は、36百万円(前年同四半期は営業損失238百万円)、経常利益は、74百万円(前年同四半期は経常損失161百万円)、四半期純利益は、66百万円(前年同四半期は160百万円の四半期純損失)となり、黒字転換いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、1,641百万円となりました。これは主に、未払金の支払い等により現金及び預金が74百万円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、1,282百万円となりました。これは主に、主力商材の新機能開発によりソフトウェア仮勘定が21百万円増加した一方で、ソフトウェアが償却等により51百万円減少したことによりです。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて19.5%減少し、710百万円となりました。これは主に、未払金が114百万円減少したことによりです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて3.0%増加し、2,209百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が66百万円増加したことによりです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、以下の各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因により、1,249百万円（前年同四半期は1,223百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は47百万円（前年同四半期は292百万円の支出）となりました。主な増加要因は、減価償却費72百万円であり、主な減少要因は、システム移行費用の支払額75百万円、未払金の減少額33百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は27百万円（前年同四半期は51百万円の支出）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出30百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想に関する事項につきましては、平成25年5月14日に開示しました「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において発表した平成26年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,875	1,249,206
受取手形及び売掛金	341,210	356,542
たな卸資産	10,593	13,909
その他	45,246	35,759
貸倒引当金	△12,414	△13,543
流動資産合計	1,708,511	1,641,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	86,335	86,335
減価償却累計額	△41,122	△43,028
建物及び構築物(純額)	45,212	43,307
工具、器具及び備品	306,796	308,018
減価償却累計額	△228,173	△234,152
工具、器具及び備品(純額)	78,622	73,866
その他	673	1,365
有形固定資産合計	124,509	118,539
無形固定資産		
ソフトウェア	756,614	705,434
ソフトウェア仮勘定	104,588	126,313
その他	2,582	2,429
無形固定資産合計	863,784	834,177
投資その他の資産		
長期未収入金	10,787	10,210
敷金及び保証金	322,579	317,323
破産更生債権等	337,576	329,816
その他	13,925	13,564
貸倒引当金	△349,541	△341,205
投資その他の資産合計	335,326	329,709
固定資産合計	1,323,620	1,282,426
資産合計	3,032,132	2,924,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,782	48,316
未払金	432,652	317,746
未払法人税等	29,057	12,777
解約負担引当金	123,624	85,386
その他	256,632	246,539
流動負債合計	882,748	710,766
固定負債		
預り保証金	3,997	3,997
固定負債合計	3,997	3,997
負債合計	886,745	714,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,151,969	8,151,969
資本剰余金	8,249,531	8,249,531
利益剰余金	△14,233,085	△14,166,510
自己株式	△65,195	△65,195
株主資本合計	2,103,220	2,169,796
新株予約権	42,165	39,740
純資産合計	2,145,386	2,209,536
負債純資産合計	3,032,132	2,924,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,011,751	1,101,396
売上原価	296,278	267,410
売上総利益	715,473	833,986
販売費及び一般管理費	953,873	797,302
営業利益又は営業損失(△)	△238,400	36,684
営業外収益		
受取利息	188	172
違約金収入	39,530	300
貸倒引当金戻入額	31,631	3,056
解約負担引当金戻入額	6,651	30,868
その他	1,551	4,594
営業外収益合計	79,552	38,991
営業外費用		
支払利息	313	—
支払手数料	2,263	—
その他	428	990
営業外費用合計	3,005	990
経常利益又は経常損失(△)	△161,853	74,686
特別利益		
投資有価証券売却益	3,445	—
特別利益合計	3,445	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△158,408	74,686
法人税、住民税及び事業税	2,035	8,110
法人税等合計	2,035	8,110
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△160,444	66,575
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160,444	66,575

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△160,444	66,575
四半期包括利益	△160,444	66,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,444	66,575
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△158,408	74,686
減価償却費	76,947	72,984
株式報酬費用	917	△2,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36,941	△7,207
解約負担引当金の増減額(△は減少)	△18,240	△38,237
受取利息及び受取配当金	△188	△172
支払利息	313	—
投資有価証券売却益	△3,445	—
売上債権の増減額(△は増加)	58,112	△15,332
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,866	△3,315
破産更生債権等の増減額(△は増加)	37,006	7,759
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,671	7,770
未払金の増減額(△は減少)	△37,179	△33,328
未払費用の増減額(△は減少)	△2,742	△10,968
その他	△29,681	2,140
小計	△129,336	54,354
利息及び配当金の受取額	188	172
利息の支払額	△313	—
事業清算損の支払額	△2,386	△3,999
システム移行費用の支払額	△153,715	△75,836
早期退職関連費用の支払額	—	△10,800
法人税等の支払額	△6,603	△10,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△292,167	△47,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,239	△1,991
無形固定資産の取得による支出	△47,833	△30,026
投資有価証券の売却による収入	3,445	—
敷金及び保証金の差入による支出	△998	△460
敷金及び保証金の回収による収入	4,445	4,746
貸付金の回収による収入	—	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,180	△27,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△500,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△500,000	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△843,348	△74,669
現金及び現金同等物の期首残高	2,066,715	1,323,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,223,366	1,249,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について

平成25年6月27日開催の第16回定時株主総会において、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行うことが承認されております。なお、平成25年7月31日に効力が発生しております。

(1) 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の目的

当社グループにおける黒字化の目途が立ちましたことを機に、過年度の欠損金を一掃するとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金、資本準備金及び利益準備金の減少を実施いたしました。

(2) 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

① 減少する資本金の額

資本金の額の減少の効力発生日の直前における資本金の額8,152,060,333円のうち、5,751,969,711円を減少し、全額をその他資本剰余金に振り替えております。

② 減少する資本準備金の額

資本準備金の額の減少の効力発生日の直前における資本準備金の額2,549,148,317円のうち、2,549,057,695円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

③ 減少する利益準備金の額

利益準備金の額の減少の効力発生日の直前における利益準備金の額1,430,660円を全額減少し、繰越利益剰余金に振り替えております。

④ 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更を行わず、資本金、資本準備金及び利益準備金の額のみを減少しております。

(3) 剰余金の処分の要領

資本金及び資本準備金の額の減少により、その他資本剰余金の額は14,001,501,466円となりますので、そのうち、13,920,722,141円を減少し、利益準備金の減少額1,430,660円との合計額13,922,152,801円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損金の填補に充当いたしました。これにより、その他資本剰余金は80,779,325円となりました。

(4) 日程

- | | |
|-------------|------------|
| ① 定時株主総会決議日 | 平成25年6月27日 |
| ② 減資の効力発生日 | 平成25年7月31日 |